

た、100周年記念で新聞広告をするという件につきましても、それも寄付をお願いするということをご各クラブに通知を出しただけで、そんなのんきなことを言っているのかとお叱りを受けました。これまでやってきたことをいろいろ説明しましたが、どうしても納得していただけないような状態でした。

そこでいろいろ考えて見ますと、地区というところは何回もこれまで申しましたように、力づくで各クラブにこれこれの様にしなさいというような命令するような力は全然ないのです。これまではカバナーも地区もみんな偉い地区カバナーもおられました、私の席からは地区というのは一つのエージェンシー（代行機関）にすぎないようになり、上からRIの指示をクラブに伝え、クラブからはこういう時はどうしたらよいかを伝え、こういう時はこの様にしなさいと知らせる代理人のようになった訳です。これは私が考えたのではなくて、今年の2月にアナハイムに行きましていろいろ講義を受けましたがその時に、これまでのやり方をRIも考え方を換え、地区というものが優先するよりもクラブが優先するということを提唱して来ましたが、そしてRIの会長もロータリークラブで一番偉いのはRI会長ではなくて、120万の会員の皆さんと各クラブの会長さんが一番偉いとはっきりと言明されました。そういうことからしましても地区というものが「こうしなさい、ああしなさい」という立場ではないということを教えられ、日本に戻りましてもそういう形の中でいろいろ計画を立ててまいりました。そういうことを言いますと、これまでの古い方々からお叱りを受けます。地区というものはどんどん命令してクラブに何もかもやらせなければならないんだよと言われます。地区やカバナーが偉くないなんて言いますと、昔のゆったりとした壮大なロータリーの方が良かったなと言われ、身もふたもないような気持ちでございましたが、そういうふうにはRIも少しずつ考え方を年々変えてまいりました。そして結局、『地区』と申しますのはRIの考え方を皆様にお伝えするという説明義務があるということを感じ、そのことに徹しましてクラブに命令することはしないというふうにはっきりと割り切りました。もう、いろいろな会、ベッツでも地区協でも説明することに対してだけ一生懸命努力することにしました。

理解された方はそれなのに理解していただけたと思いますが、人間の脳の中にインプットされた思想というものは一長一短ではアウトプットしないもので、昔のロータリーが良いという風な、そういうことが浸透するまでに3、4年は掛かるというふうには私は理解しております。そんなことで私は変なガバナー、いろいろ変わったことをやるガバナーと言われております。たとえば今日の合同例会につきましても、こんなことをしているとRIからオミットされるぞと言う人がいました。今までは一つ一つガバナーがクラブをまわり講和をするということが普通でしたので、このようにまとめて講和をするということが非常に恥ずかしいことだと皆様は思っておられた訳ですが、しかしRIと致しましてはなるべく沢山の人たちにロータリーの考え方をカバナーの力を余り使わないようにして伝えてもらいたいと言うことが眼目にございました。例えば、アシスタントカバナーの制度も昔はそういうものはなく、皆ガバナーが行って講和をしたり、協議会をしたりいろいろ致しましたが、今では地区の近代化というプランの下、それをアシスタントガバナーをお願いするということをRIが提唱しア

スタントガバナーという制度を作り、いちいちガバナーがクラブに赴かなくてもアシスタントガバナーとクラブが密接に関係していただいてガバナーに報告をして頂く制度になってまいりました。そんなふうにはロータリーの制度も年々少しずつ変わってきた訳でございます。それに従って私どもも動いておりますが、一番大事なことはロータリーの基本理念、そういうものに関しましては少しの変わりもないのです。理念まで変えるようではロータリーではなくなってしまいますから、そういう制度が変わっても理念が変わるということにはございません。そこだけは、はっきりさせておきたいと思っております。

災害のことに話は戻りますが、ロータリーの理念に沿って災害の処理をどういうふうにするかということは大変難しい事でございます。これまでに例がないことであり、震災につきましては阪神淡路の震災が9年前にありましたが、その時にやはり思考錯誤されてロータリークラブがどのように動いて力を発揮したかを神戸の芦屋川クラブの田中毅パストガバナーに地区幹事が電話を掛けしましていろいろお聞き致しました。その様子を例会前の会長幹事懇談会に於いてお話をさせていただきました。一口で申しますと、義援金を頂戴しておりますけれども、それをただ県庁とか赤十字とかにポンと出すということではなくてロータリーの理念に従ってそれを生かすように、それを奉仕に使えるような考え方にしてもらいたいと言う事でございました。そして三条地区の水害についてですが、水害の見舞金を新潟地区がいろんなクラブ或いは地区から頂戴しましたそのお金をアシスタントガバナーにお渡し致しましたが、その後ガバナー会という所が全国から募金を募りましてお金を集めてくれました。その時は新潟と福井の水害があり、新潟福井水害を援助するという名目でお金を集めてくれました。この前ガバナー会の折に両地区に送ろうとお話がございましたが、福井県のガバナーといろいろお話を致しまして、その後もいろいろと水害がありましたし、いろんな台風の災害もありました、それを全部いただくというのは心苦しいので、その事も考慮してということをして2地区から申請いたしましたが、このお金は新潟と福井の両地区のために集めたお金だから両地区に半分ずつ送るといって下さいまして2560地区に送られてまいりました。それは我々が地区で集めたお金よりも桁違いの金額であり、それをどういうふうに分配するか、それは地区がこれこれこういうふうに使いなさいとかではなく、聞きましたところ、三条地区のロータリアンの方が水害のために仕事をやめられロータリーを退会された方があると聞いております、そういうことを考えますと各クラブが自分の所で考えて一番良い方法で使って頂いた方が良く私どもは考えております。先程会長さんからお話がありましたように細井アシスタントガバナーの処にお集まりいただいて、各クラブの自主性によってそのお金をお使いいただくというふうにお話がありましたので、三条地区の皆様のご意向に沿ってそのお金を使っていたきたいと思います。三条だけではなくて長岡、栃尾、見附、のそういうところの水害もありますのでその分配方法を考えますとどういうふうにしたら一番良いのかと申し上げました。ここにお集まりの皆様ももしご意見がありましたらクラブの会長さんや幹事さんにお申し出いただいて一番良い方法を考えて行きたいということが今日のお話でございます。どうも有難うございました。

ニコニコボックス：	27日現在累計 417,000円
-----------	------------------